



33の湖沼からなる十二湖において、青池は、十二湖を代表する人気のスポットであり、生い茂るブナの木々や葉が水面に映し出され、神秘的な雰囲気醸し出します。

観光シーズン入りした十二湖青池（青森県深浦町：津軽十二湖自然休養林）[提供：津軽森林管理署]

CONTENTS

地域発NEWS	1～4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5～6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

希少猛禽類に配慮した森林づくり

山形

山形森林管理署最上支署

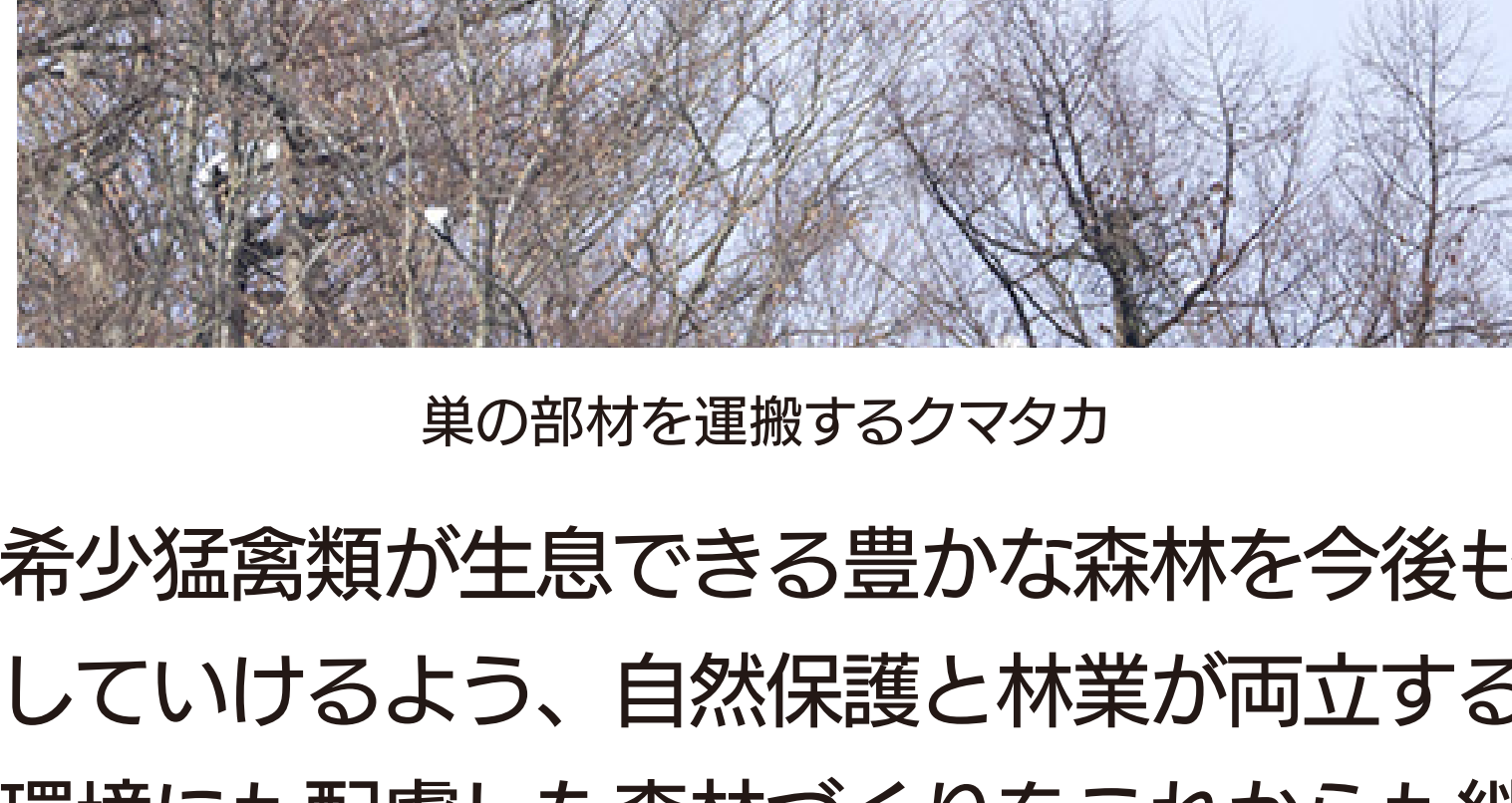
当支署が管轄する最上地域は、山形県の北東部に位置し、豊かな森林に恵まれ、古くから林業が盛んな地域です。

また、良好な自然環境も色濃く残しており、イヌワシ・クマタカといった希少猛禽類などの多様な野生生物も生息しています。

その中でもワシ・タカ類は食物連鎖における生態系ピラミッドの頂点に位置する種でもあり、環境を指標する種としても扱われます。

森林施業を行う地域には、イヌワシ・クマタカの行動圏も含まれていることもあるため、繁殖・子育ての障害とならないよう配慮する必要があることから、イヌワシ・クマタカの保護管理、森林施業等の調整を目的として、営巣地周辺での生息状況等の確認・調査を行っています。

調査で営巣・繁殖が確認された場合は、鳥類に詳しい専門家から助言をいただき、助言をもとに作業時期の調整や作業方法を検討しながら、希少猛禽類に配慮した森林づくりを行っています。



巣の部材を運搬するクマタカ

希少猛禽類が生息できる豊かな森林を今後も維持していけるよう、自然保護と林業が両立する自然環境にも配慮した森林づくりをこれからも継続して取り組んでいきます。

地元小学生を対象とした森林教室

秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

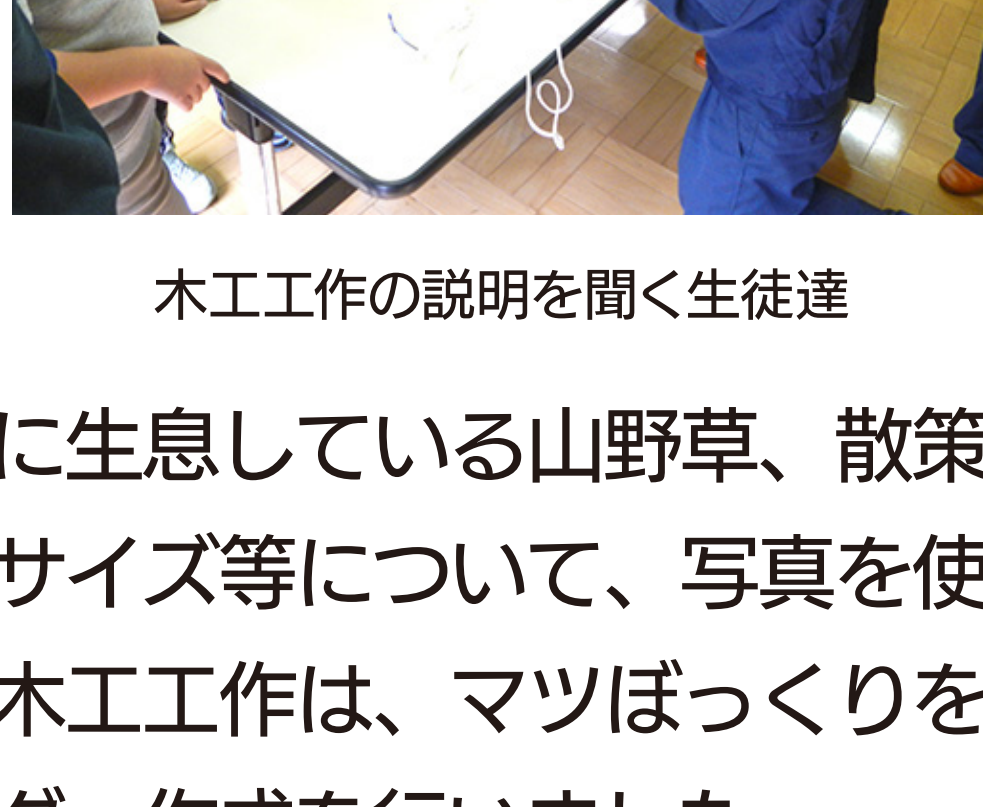
当支署では令和5年11月6日に地元小学校3年生8名を対象とした森林教室を行いました。例年は、コブ杉がある上大内沢自然観察教育林で野外教室を開催していましたが、今回は天候不順及びクマの出没が現地付近でも多数目撃されたことから、安全面を考慮し野外での森林教室は中止とし、地元小学校の教室で開催することとなりました。

森林教室では、森林のお話、野外教室予定だったコブ杉の現地概要、木工工作を行いました。はじめに森林のお話として、



現地概要の説明を聞く生徒達

森林の持つ役割、秋田県の森林面積の割合、村の森林面積の割合、天然秋田スギと秋田スギの違い等を説明しました。次に現



木工工作の説明を聞く生徒達

地概要として、現地に生息している山野草、散策スポット、コブ杉のサイズ等について、写真を使用し説明しました。木工工作は、マツぼっくりを利用した、キーホルダー作成を行いました。

生徒からは「森林のもつ様々な役割や、村にも立派なスギがあることなどを知れて、勉強になりました」などの感想がありました。

今回は、天候不順及びクマの影響により屋内での森林教室となりましたが、令和6年度は今回野外での森林教室ができなかった3年生を含めた3・4年生合同による、直接森林とふれあうことのできる森林教室が開催できればと考えています。

地域住民と行うクリーン活動

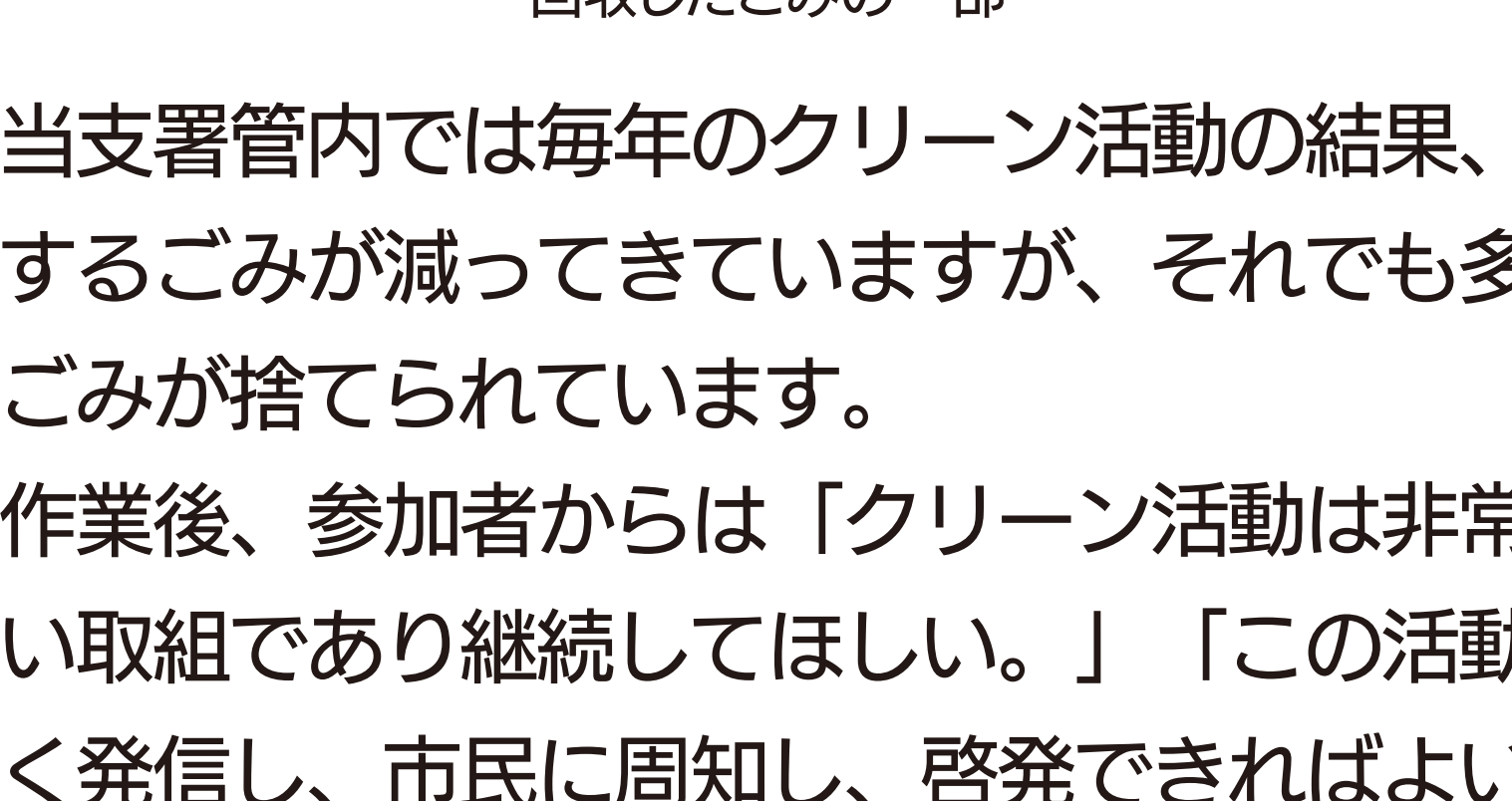
岩手

岩手南部森林管理署遠野支署

林野庁では、毎年7月を『「国民の森林」クリーン月間』と設定しており各署等でクリーン活動を実施しています。昨年度は令和5年7月21日にクリーン活動として遠野市内の山に捨てられたごみ拾いを実施しました。

例年、遠野市・県・警察・消防・森林組合及び森林ボランティアの方々に参加していただき、今回は約30名に参加していただきました。

山の中では不法投棄されたタイヤや空き缶、ペットボトルなどが散乱する場所や、沢にフレキシブルコンテナバッグごとごみがまとめて捨てられている場所があり、参加者で協力して回収しました。



回収したごみの一部

当支署管内では毎年のクリーン活動の結果、回収するごみが減ってきていますが、それでも多くのごみが捨てられています。

作業後、参加者からは「クリーン活動は非常に良い取組であり継続してほしい。」「この活動を広く発信し、市民に周知し、啓発できればよいのでは」などの意見が出されました。

当支署ではこれらの意見を参考に今後もクリーン活動を継続してごみを回収する他、関係機関と協力して本活動のPRにも取り組み、少しでもごみが減るよう取り組んでいきます。

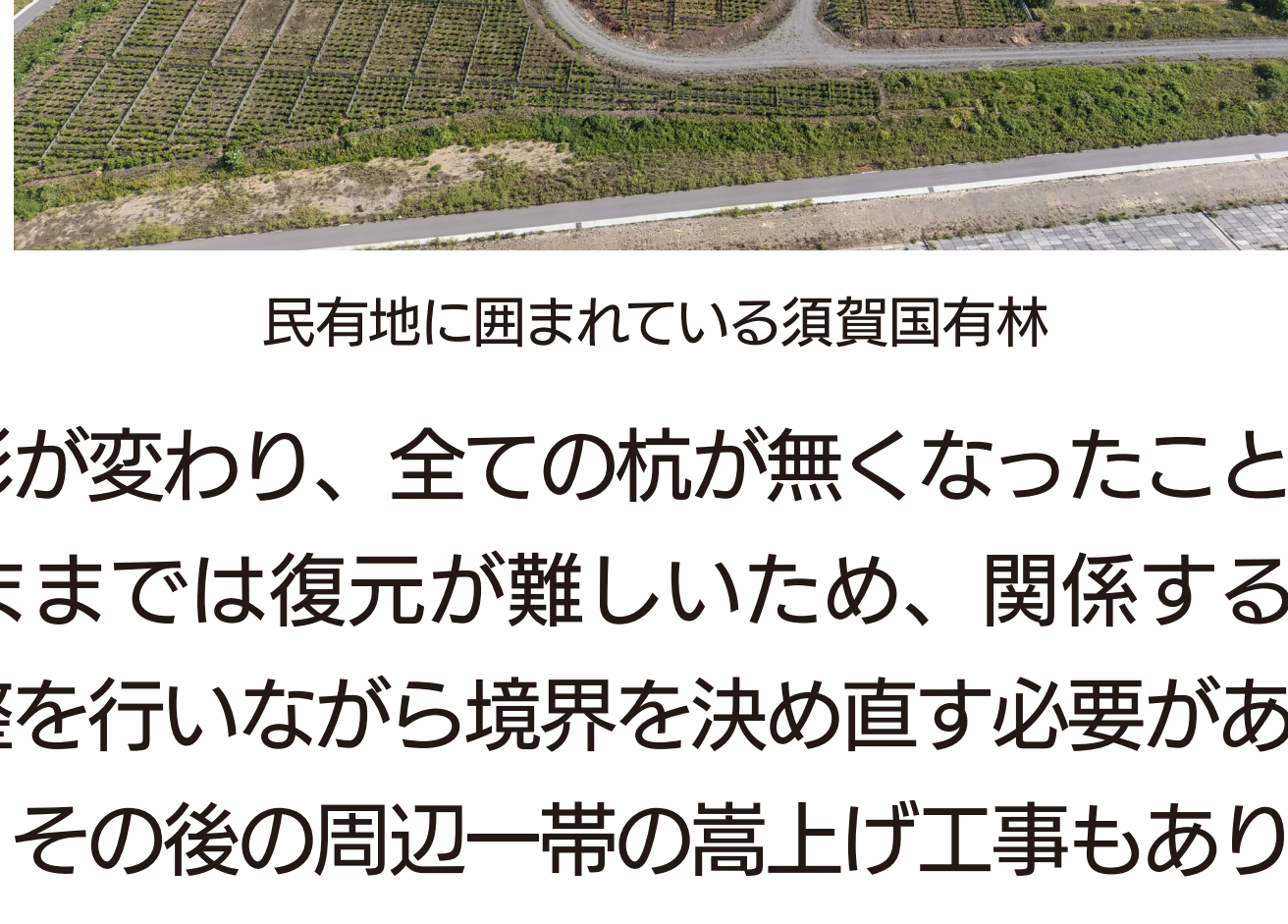
境界はここから国有林の目印です

宮城

宮城北部森林管理署

国民の大切な財産である国有林をきちんと管理するため、森林管理署では、境界に目印となる杭を打ち、国有林側への侵入はないか、日々、境界の管理をする仕事もしています。

管理に当たり、境界を示す杭は非常に重要なものですが、東日本大震災の津波で被害を受けた須賀国有林の杭は全て流されてしまいました。杭を復元しようにも地盤沈下による水没で現地にも行けない期間がありました。また、



民有地に囲まれている須賀国有林

現地は地形が変わり、全ての杭が無くなったことからそのままでは復元が難しいため、関係する方々と調整を行いながら境界を決め直す必要がありました。その後の周辺一帯の高上げ工事もありましたが、国有林と民有地の境界に杭を打ち直し、復元作業を重ね、当署の管理台帳の整理には約10年の月日を要しました。

宮城県の国有林は公園や海岸等の身近な所にも多くありますので、目にする機会があるかと思えます。もし、「山」の印が入った境界標を見つけたら、その先は国有林ですので森林管理署が日々管理していることを思い



国有林境界標

出してみてください。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

雪崩から地域を守る治山事業

秋田森林管理署湯沢支署

秋田

当支署管内は、県内有数の豪雪地帯であり急峻な地形が多いため、雪崩や地すべり等の災害から地域を守るために治山事業に取り組んでいます。

令和5年度の積雪量は、近年稀に見る少なさでしたが、降雪期は気温の上昇により積雪が緩み、雪崩のリスクが高まるため、危険地域の点検を定期的に行っています。

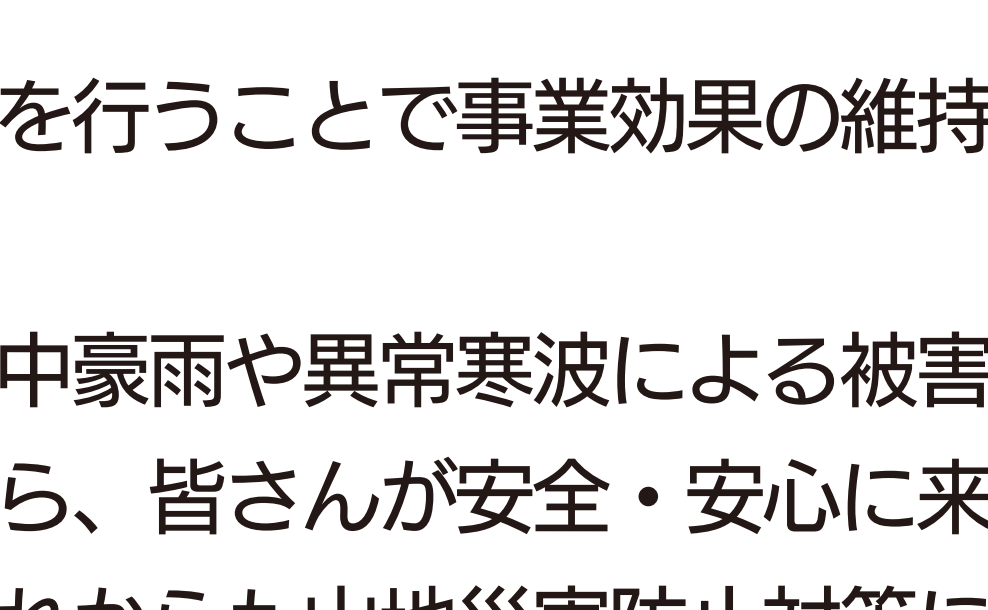
その中から、高松岳山麓の窪地に位置する秘湯として有名な泥湯温泉地区の治山事業について紹介します。

この地区では、過去数回の雪崩が発生したことから、昭和58年から令和元年にかけて雪崩及び山腹崩壊対策工事を実施しました。近年、雪崩等の被害は確認されていないことから、治山対策は効果を発揮していると判断できますが、定期的に施設点検を行い、修繕を行うことで事業効果の維持に努めてきました。

近年、頻発する集中豪雨や異常寒波による被害が危惧されることから、皆さんが安全・安心に来訪できるように、これからも山地災害防止対策に取り組んでいきます。



泥湯温泉と雪崩対策施設の全景
(令和6年2月)



雪崩予防柵 令和元年12月完成
(令和5年1月)

民国連携したクマ剥ぎ被害の対策を

置賜森林管理署

山形

クマ剥ぎとは、ツキノワグマがスギなどの樹皮の内側にある形成層（養分を蓄えた細胞）をかじるために樹皮を剥す行為です。

樹皮を剥された樹木は、腐朽あるいは枯死してしまうため、林業関係者に経済的・心理的ダメージをあたえるとともに、森林の荒廃が心配されています。

山形県置賜地方では、民有林・国有林を問わずほぼ全域で被害が確認されてお



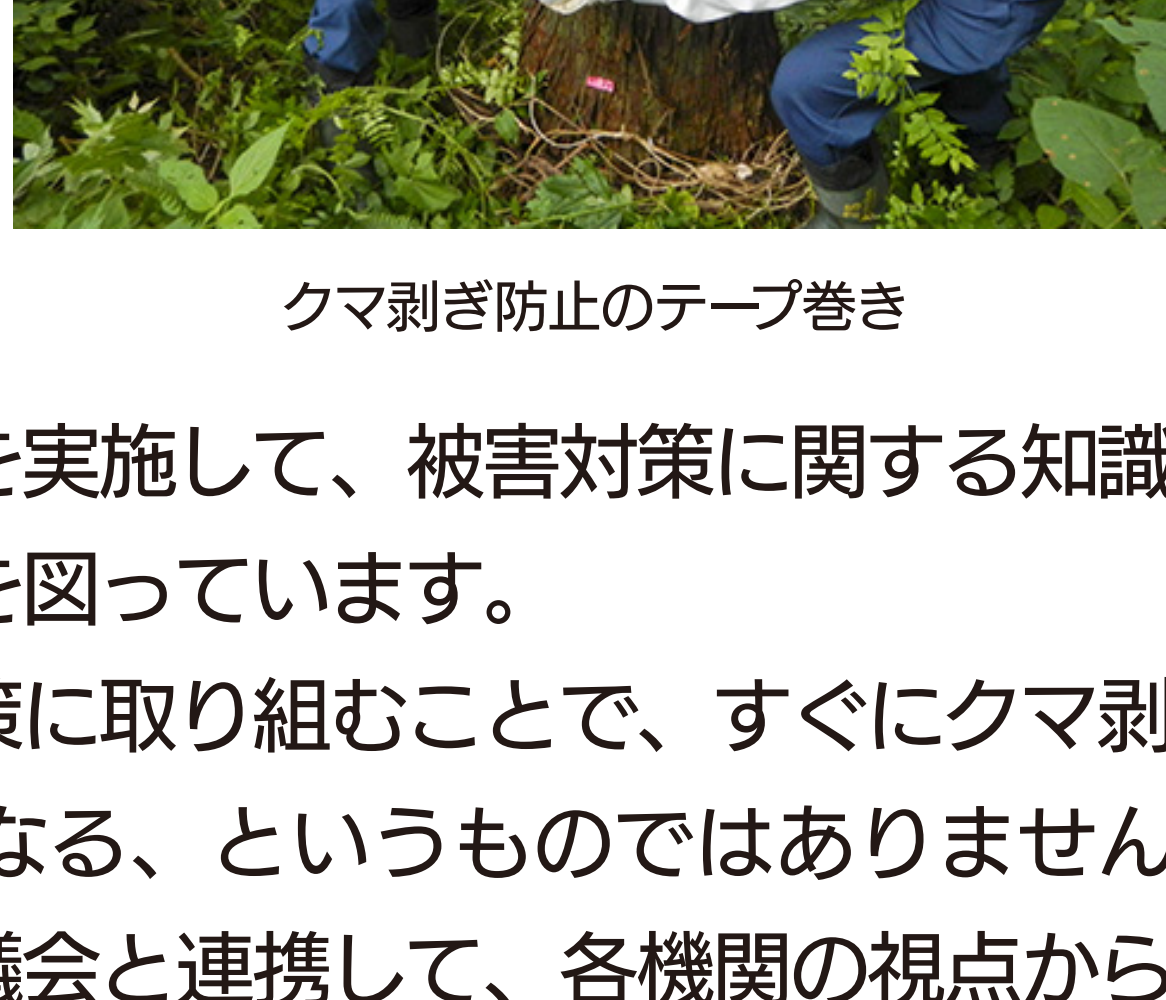
クマ剥ぎの瞬間

り、その規模は拡大傾向にあることから早急に民国連携した対策をとる必要があります。

そのため、当署も構成員になっている「置賜森林病虫害獣対策協議会」と連携して、クマ剥ぎを防ぐための

テープや

ネットを樹幹に巻き付ける方法などを一般の方々にも普及させるため、研修会



クマ剥ぎ防止のテープ巻き

や現地検討会を実施して、被害対策に関する知識と技術の習得を図っています。

被害防止対策に取り組むことで、すぐにクマ剥ぎ被害がなくなる、というものではありませんが、今後も協議会と連携して、各機関の視点から見た問題点や課題、またそれを解決するためのアイデア等を共有して、クマ剥ぎ被害に対する総合的な対策をしていきたいと考えています。

林道の早期復旧に向けて

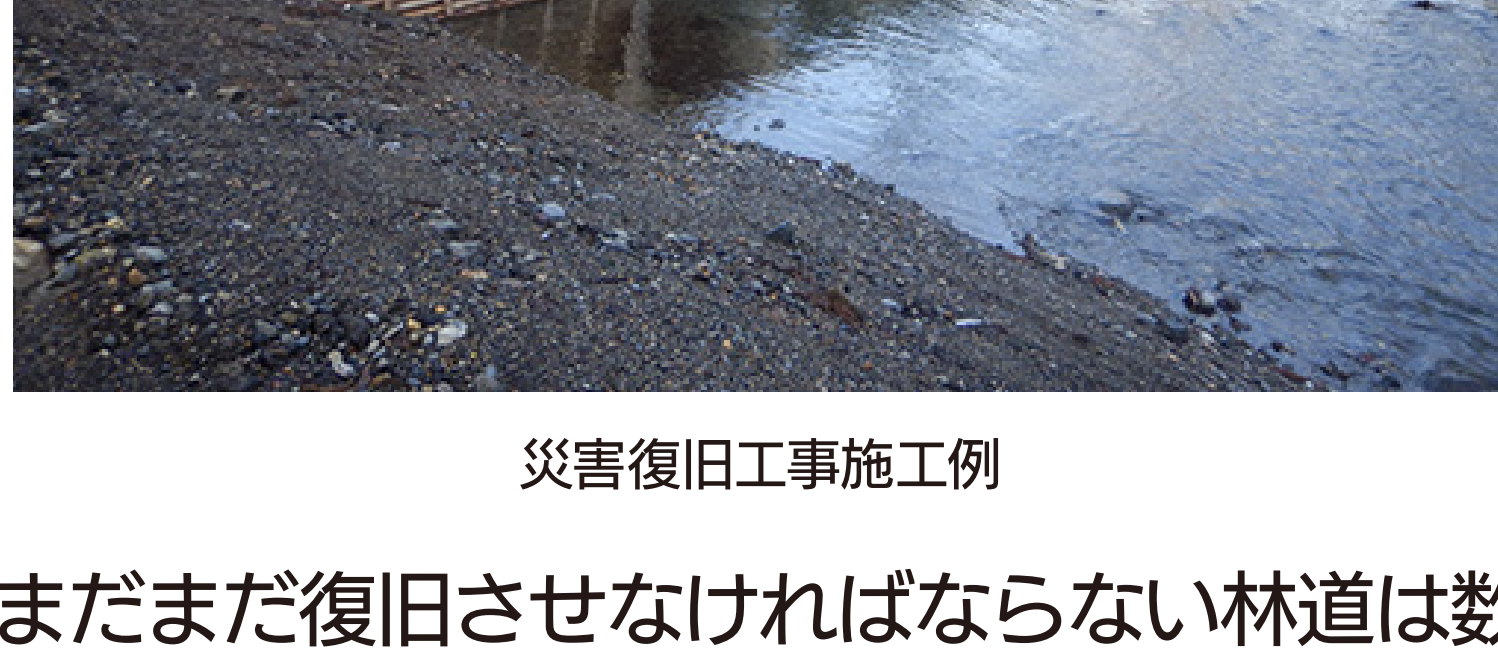
米代東部森林管理署

秋田

令和4年8月8日から15日にかけて、前線が日本海から北日本に停滞し、青森県、秋田県北地域を中心に大雨をもたらしました。当署管内でも、鹿角市では1日の雨量が260ミリを超え、時間雨量が90ミリ、大館市、北秋田市では1日の雨量が160ミリを超えるなど管内全域の林道で相当数の被害が発生した記録的な豪雨となりました。

現在、国有林野事業を含め地域の森林整備に重要な路線や農地、インフラの管理道、登山道へのアクセス道などとして重要な路線を優先的に、災害復旧工事を実施しております。

工事内容としましては、大雨による増水によって道路が流されてしまった箇所には、再度流されてしまうことがないように、コンクリート擁壁やブロック積擁壁を施工し、大雨により土砂が流出し、排水管が損傷、閉塞することで道路ごと管が流されてしまった箇所には、新たに大口径の排水管を設置することで自然災害に強い林道としています。



災害復旧工事施工例

まだまだ復旧させなければならない林道は数多くありますが、引き続き地域のために豪雨災害からの早期復旧に取り組んでいきます。

信頼される品質の青森ヒバ丸太を目指して

下北森林管理署

青森

下北半島には青森県の県木に指定されている青森ヒバと広葉樹が混生する森林が広がっています。

青森ヒバは湿気に強くシロアリ被害も少ないことから、古くから家屋などの建築用材として利用されてきました。最近では名古屋城や首里城など、大径材を必要とする重要文化財の改修工事の材料としても活用されています。

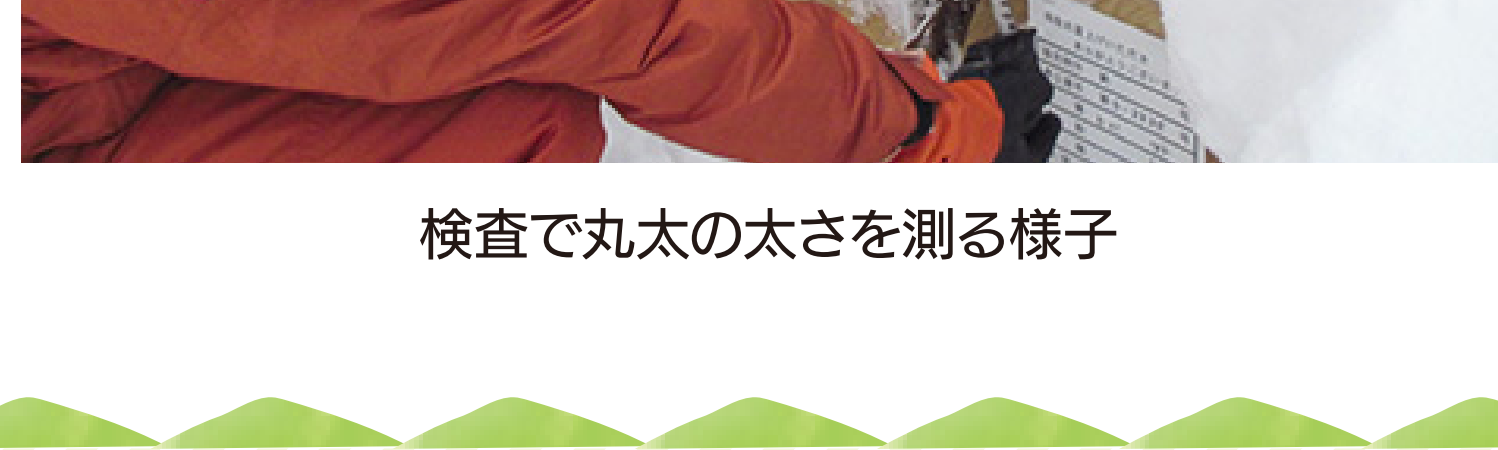
また、抗菌作用も優れており香りがよいことから、まな板などの台所用品や入浴用品、これらの成分を抽出した精油に至るまで様々な形で利用されています。

当署では、請負事業により計画的に青森ヒバを伐採・搬出し、ヒバ丸太を生産しています。

生産されたヒバ丸太は請負者により、1本1本JISの規格どおりの品等に格付けされ、太さや長さごとに仕分けされます。

仕分け後には、当署職員が、曲がりや腐れ、節の有無など欠点の程度により適正な品等格付となっているか、太さや長さの表示に誤りがないかなど確実に検査をして販売しています。

当署では、これからもニーズに応じた信頼される青森ヒバ丸太の供給に努めていきます。



検査で丸太の太さを測る様子

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森

青森県三戸郡新郷村

三八上北森林管理署

新郷村は青森県のほぼ南端に位置し、東部には奥羽山脈の一部を生成している戸来岳^{へらいだけ}と八甲田連峰が連なり、この一帯の一部は十和田湖国立公園区域となっています。村の総面積15,077ha、人口2,114人（令和6年2月29日現在）、豊かな自然に囲まれた村です。

所有形態別では、国有林が3,262haで27.7%、民有林が8,512haで72.3%になっており、民有林のうち、人工林が71.8%の地域で、間伐等の保育を必要とする森林が大部分を占めています。

令和5年1月に森林管理署、村、地域の林業・木材産業関係者と森林整備推進に係る五者協定を締結、総面積3,328haの森林共同施業団地を設定し、計画的な森林整備に取り組んでいます。

新郷村の特徴について、紹介します。

「ロマンと神秘の里」と言われる新郷村と言えばやっぱり「キリストの墓」です。

「ゴルゴダの丘で磔刑^{たっけい}に処されたはずのキリストが、実は新郷村で106歳の天寿を全うした…」昭和10年、竹内古文書の記述を基に、古代史跡研究者らがキリストの墓を発見しました。

毎年6月第一日曜日に「キリストまつり」が開催されます。



キリストまつり

新郷村は、青森県酪農発祥の地と言われる村です。

飲むヨーグルトは、地元の酪農家から分けてもらった、朝搾りたての新鮮な生乳100%で安定剤や香料などの添加物は一切使用せず、上品な甘味に仕上がっています。



飲むヨーグルト

新郷温泉館は、新郷村に古くから伝わる鷲の湯伝説で知られる秘湯です。猟師に羽を射抜かれた大鷲がその傷を癒したと言われており、地元で愛される隠れた人気の温泉です。



新郷温泉館大浴場

最後に、山々からの澄んだ豊富な水と陽の光をたっぷり浴び寒暖のある気候が生み出すフルーツの様な極甘なとうもろこし「郷（さと）のきみ」です。

農家さんが「まごころ」込めてつくり出した味が、ここにあります。



郷（さと）のきみ

お問合せ先
新郷村企画商工観光課 Tel.0178-78-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城



しばたぐんむらたまち
宮城県柴田郡村田町

仙台森林管理署

村田町は、宮城県の南部に位置し、南に白石川が流れ、西に蔵王山系の山々を望む、自然環境に恵まれた地です。また、東北地方と関東地方、仙台方面と山形方面を結ぶ、古くからの交通の要衝であり、現在も東北自動車道村田IC・菅生スマートICなどにより、その役割を果たしています。

江戸時代には、仙台藩に属し、仙南地域の交通の要衝・商業活動の中心地として栄えました。特に、江戸時代後期に京都・大阪・江戸との紅花交易を期に村田の商人は繁栄し、その面影が今も町中心部蔵の町並み（伝統的建造物群保存地区）として残されています。



蔵の町並み

昨年11月には、宮城オルレ「村田コース」がオープンし、国内外問わず、多くの観光客が村田町を訪れています。「道の駅村田」をスタート・フィニッシュとし、序盤は神社・仏閣にて村田町の歴史



宮城オルレ「村田コース」

に触れ、コース途中では、雄大な蔵王連峰を大パノラマで眺望できます。中盤では、姥ヶ懐地区に伝わる「鬼伝説」に触れたり、蕎麦処にて美味しい蕎麦を食べたりすることができます。町中心部である蔵の町並みに戻ると、国の重要文化財に選定されている「やましょう記念館」にて、蔵や屋敷を見学できます。「道の駅村田」に戻ってきた後は、朝採りの新鮮野菜など地場産品を取りそろえた物産コーナーでのお買い物や、レストランにて疲れた体をリフレッシュできるのも「村田コース」の魅力です。

村田町の特産品そら豆は、毎年6月に最盛期を迎え「そら豆まつり」が行われます。そら豆の販売やそら豆炭火焼きの無料試食、袋詰め放題なども行われます。



そら豆まつり

また、フルーツコーンと呼ばれるほど甘く、生で食べることが出来る村田町の特産品とうもろこし「味来」も大人気で、8月は「味来」が一番美味しく食べられます。



とうもろこし「味来」

お問合せ先
村田町まちづくり振興課 Tel.0224-83-2113

令和5年度森林・林業 技術交流発表会の開催 (その2)

技術普及課

【中学・高等学校の部】～優秀賞～

『学んだことを生かして地域課題を解決～森林整備ボランティアから新たな活動への展開～』

秋田県立秋田北鷹高等学校

藤嶋さん、佐藤(秀)さん、工藤さん、
佐藤(龍)さん、藤島さん、齊藤さん

森林整備ボランティアを通じた地域貢献活動を継続してきた「森林マスターズ」の活動を地域へ展開させるべく、令和2年に北秋田市、木材産業関連団体と地域連携に係る3者協定を締結し、市提供の民有林で実施した保育作業から発生した間伐材を製材のうえ、協定団体と多目的ブロックを製作する取組を進め、一昨年から市内小学校新入生に配布しているほか、小学生への植林指導、中学生への「森のしごと」活動発表等を通じ、小中学生に向けて、木とふれあう機会を創出するなど、地域環境の保全に興味関心を持たせるきっかけづくりに取組んだことが発表されました。



審査員からは、小中学生に向けたきっかけづくりは、非常に先行きが明るい取組であるとして高く評価されました。

【日本森林技術協会理事賞】

『人工知能を用いない自動画像解析による枯死木検出法の開発』

八戸工業大学大学院 赤松さん

松枯れ病被害最前線である青森県では、現在、航空写真を用いた目視による枯死木探索を実施しており、探索に時間を要することが課題であることから、目視と同等の精度を備えた解析手法を検討し、Windows上で利用できる汎用性の高い枯死木検出システムの開発を行ったことが発表されました。目視探索と比較して大幅な作業時間短縮が見込まれたほか、目視では判断が困難な枯死木の検出に成功するなど、一部誤検出への対応等を行うことで目視に代わる検出法として実用化できる可能性が示唆されました。



審査員からは、汎用性に優れ、今後の普及が大いに期待される取組として高く評価されました。

【日本森林林業振興会会長賞】

『小学生を対象とした森林環境教育の質的改善～教科教育との関連が図られた活動メニューの考案に向けて～』

技術普及課 杉本さん
秋田森林管理署 小笠原さん

森林ESDの推進に向け、局署が連携して実施している市内小学校2校における3つの学校行事について、教科教育と関連づけた活動メニューへ改善するため、小学校協力のもと教職員へのアンケートや意見交換を行い、森林・林業を学ぶ「社会科」及び「総合的な学習の時間」に関連した要望の掘り起こしにより、教科教育に繋がる3つの活動メニューを考案、今後の活動へ導入することが発表されました。



審査員からは、小学校側のニーズに即した森林環境教育の検討を行っており、今後の普及が期待される取組として高く評価されました。

【東北森林管理局林政記者クラブ賞】

『ニホンジカの鳴声はニホンジカを呼び寄せるのか？～^{ほうちょう}咆哮データを用いた低密度分布域における検証～』

藤里森林生態系保全センター 盛さん
米代西部森林管理署 三塚さん

近年、世界遺産地域を含む白神山地周辺では、ニホンジカ目撃情報が増加傾向にあり、今後の分布拡大や定着による森林生態系への影響が懸念されることから、限られた予算や労力等で効果的かつ効率的に捕獲できる方法として、シカ咆哮音声データによるシカ誘引効果の検証を行い、オスジカが誘引される可能性が示唆されたことが発表されました。



審査員からは、効率的な捕獲手法の確立に向けた興味深い検証結果であり、今後の取組が大いに期待されるとして高く評価されました。

最後に芦谷審査委員長より「この交流会を技術や情報の交流のきっかけにし、皆さんで深い交流をしていただければと思う。」との感想をいただき、2日間の発表会を終了しました。

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

国民一人一人が、森を支える。 森林環境税

日本の森林は、国土の約7割を占め、地球温暖化や災害を防ぎ、豊かな水を育むなど、私たちの命や暮らしを支えています。この大切な森林を持続的に守り育てていくため、「国民一人一人が、森を支える」新たな仕組みとして、「森林環境税・森林環境譲与税」が創設されました。

森林環境譲与税（以下「譲与税」という。）は、森林整備を推進する観点から徴収に先んじて譲与が開始されており、令和6年度で6年目を迎えます。全国の市町村では、譲与税の活用により、間伐等の森林整備、人材育成・担い手の確保、木材利用・普及啓発などの取組が展開されており、取組市町村数、活用額のいずれも着実に増加しています。譲与税の使途は、自治体ごとにホームページで公表していますので、地域での取組状況もチェックしてみてください。

林野庁においても、こうした地域の森林・林業の未来に向けた取組を、より分かりやすく紹介するため、林野庁ウェブサイト譲与税ページを開設しています。また、林野庁公式SNSにおいても、取組事例を写真付きで紹介・発信していますので、是非、ご覧ください。



【由利本荘市】間伐



【むつ市】再造林



【八幡平市】新規就業者研修



森林環境税

キーワード解説

詳しくはこちら▶



🌲「森林環境税」は、令和6年度から、個人住民税均等割の枠組みを用いて、市町村が国税として1人年額千円を徴収する新たな税です。

🌲「森林環境譲与税」は、森林環境税による徴収を原資として、市町村における森林整備の促進のために、市町村と都道府県に譲与される財源です。

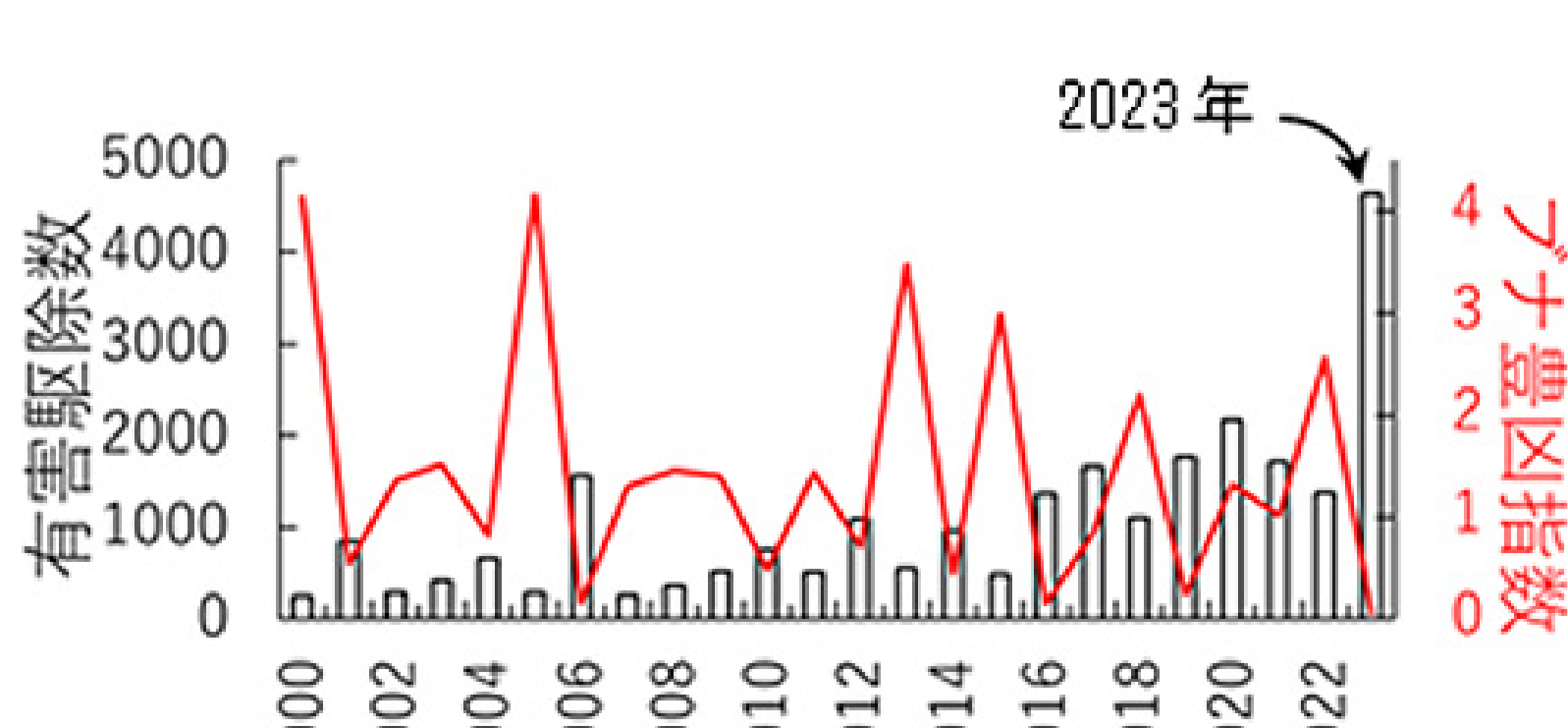
ご関心のある方は、林野庁森林利用課森林集積推進室 (TEL:03-6744-2126)へお問合せ下さい。

今後もクマの出没にご注意を!

昨年は夏から秋にかけて東北各地でツキノワグマ（以下、クマ）の出没や人身被害に関するニュースを連日目にしました。下のグラフにあるとおり、福島県を除いた東北5県では有害駆除数が4,600頭を超えました。これは、過去最多だった2020年の2.1倍にあたります。また、人身被害の発生件数も過去最多となってしまいました。なぜこれほどのクマが出没したのでしょうか。

東北をはじめとする本州各地でクマの個体数が増えており、これに伴い生息域も拡大しています。そのため、我々人間の生活圏とクマの生息域が接するようになり、「ちょっと飛び出すと人里」という状況が出来上がってしまっています。さらに、秋のエサの量も影響します。グラフ中の赤い折れ線は東北森林管理局が発表しているブナの実の付き具合です。2000年や2005年のように豊作年は駆除数（出没数）が少ないものの、その翌年の凶作年には駆除数が増えます。2023年は2000年以降で最も実なりが悪い大凶作だったことがわかります。冬眠に向けて食いだめをする時季にエサ不足に陥ったため、エサを求めて歩き回り、その結果、多くのクマが人里に出没したと考えられます。

昨年ほどの大量出没は当面はなさそうですが、個体数の増加と分布域の拡大によって、エサが多い年でも出没する可能性が高い状態にあります。今後も十分な注意が必要です。



ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所 (TEL:019-641-2150)へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

ギルド型ユニットシステムへの挑戦

山形

山形県国有林造林生産請負事業連絡協議会

有限会社庄司林業 代表取締役 庄司 樹さん

当社は素材生産事業を請負う会社です。私と父がコア（現場の管理運営及び作業全般を行う）となり、伐倒や作業道作設、林業機械等専門スキルを備えた達人をアサインする『ギルド型ユニットシステム』を採用しています。私も会長もほぼ全ての作業を行うことができ、時間をかければ二人で全工程を完了させることも可能ですが、事業期間が限られているので、ピンポイントで人材不足を補っています。

達人の方々は、①得意なことに専念②働き方を自由に選択③働き方次第で年収1,000万円超④人間関係を選べる⑤趣味や自分の時間をしっかり確保、そんな環境で生き生きと能力を発揮してくれます。林業は気象状況に影響を受けやすい産業なので、土日祝日問わず労働力を投下したいタイミングがあります。定時でなく作業の切れの良いところまできっちりやる、休む時は潔く休む、そんな働き方がぴったりなのではないかと考えています。

去年の当社の労働生産性は全工程で8.2人日/m³。高難易度の現場でも平均を上回るスコアを出せたのは、そんな働き方に共感する凄腕の作業技術者が集まってくれたからです。技を磨く=人的資本を高めて独立することで、自分らしい人生を伐り開いてみてはいかがでしょうか。



自然の中で働けるのも林業の魅力

自然や木材に親しむ機会を提供

岩手

岩手南部森林管理署

石鳥谷森林事務所森林官 齊藤未知香さん

当署管内には、森林景観の優れたエリアや地域の歴史・文化を支えてきた森林、さらには温泉、渓谷など、魅力あふれる場所が数多くあり、スキー・登山など森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として、多くの人々が四季を通じて利用しています。

そんな魅力あふれる場所を知ってもらうことと、子供をはじめとした多くの方に、自然や木材に親しむ機会を提供するため、森林環境教育や林業体験、木工イベント等を実施し、森林・林業に関する普及啓発活動に取り組んでいます。

普及啓発活動の一環として、毎年7月頃に開催される岩手県主催のイベントにブースを出展しております。このイベントでは木の実やマツぼっくりを使って作品を作る「森林クラフト」・乾燥させた紅葉や押し花をラミネートする「しおり作り」・丸太を手鋸で切る「丸太切り体験」の3種類用意し、来場者に興味のあるものを選んで体験してもらう形式で実施しました。子供から大人まで多くの方に楽しく体験していただきました。



令和5年度のイベントの様子（左端が筆者）

このようなイベントを通して、普段あまり自然を意識してこなかった方や、興味はあるが機会のなかった方の最初の一步をお手伝いできたらと思っています。

東北森林管理局の管内で

予定されている

イベント情報

4月中旬

十和田市春まつり

4月6日(土)～5月5日(日)
日本の道・100選の「駒街道」沿い
1kmに渡り桜が咲き誇る
(青森県/十和田市)

椿山のヤブツバキ

4月上旬から5月中旬
1万数千本のヤブツバキが一斉に
花を咲かせ見頃となる
(青森県/平内町役場水産商工観光課)

大潟村 桜・菜の花ロードの桜

4月中旬～5月上旬
約11kmにわたり約4,000本の
桜と菜の花が堪能できる
(秋田県/大潟村)

能代公園春まつり(さくら)

4月10日(水)～5月5日(日)
ヨシノザクラを中心とした約
400本の桜を楽しめる
(秋田県/能代市)

楯山公園桜まつり

4月13日(土)～4月14日(日)
庄内平野を一望できる桜の名所・
楯山公園で開催されるまつり
(山形県/庄内町)

八幡平アスピーテライン開通式

4月15日(月)
「雪の回廊」今年はどのくらいの高
さかな?(通行情報に要注意)
(岩手県/八幡平市観光協会)

下川原駒踊り

4月19日(金)
豊作を祈願して春の稻荷神社の例
祭に行われている駒踊り
(秋田県/鹿角市)

日本国花苑さくらまつり

4月20日(土)～5月6日(月)
200種2,000本が咲き誇る桜は圧
巻、音楽フェスや打ち上げ花火も
(秋田県/井川町)

4月下旬

白神の森遊山道トレッキングガイド白神の森遊山道散策

4月20日(土)～10月27日(日)
ガイドの案内でブナなど広葉樹巡
りを楽しむ(土日限定・要予約)
(青森県/鱒ヶ沢町)

松館の湯立て

4月25日(木)
湯立ての神事として作占いの儀や
湯浴みの儀が見所
(秋田県/鹿角市)

蔵王エコーライン開通

4月26日(金)
蔵王に春の到来と行楽シーズンの
訪れを告げる
(宮城県/蔵王町農林観光課)

くずまき高原牧場鯉のぼりまつり

4月27日(土)～5月6日(月)
GW期間中、広大な牧場の空に
300匹の鯉のぼりが泳ぐ
(岩手県/くずまき高原牧場)

梅の里まむろがわ春まつり2024

4月27日(土)
灯ろうのライトアップのほか、物
産市とマラソン大会を同時開催
(山形県/真室川町観光物産協会)

第17回AOMORI春フェスティバル

4月28日(日)
ねぶたとYOSAKOIのコラボ
レーションを楽しめる
(青森県/AOMORI春フェスティバル実行委員会)

春の検断屋敷まつり

4月28日(日)
材木岩公園内にある検断屋敷では
四季毎に祭りを開催
(宮城県/白石市小原公民館)

さんのへ春まつり

4月29日(月)～5月5日(日)
三戸城跡城山公園内1,600本の
桜が咲き誇る
(青森県/三戸町・三戸町観光協会)

5月上旬

春の藤原まつり

5月1日(水)～5月5日(日)
稚児行列や圧巻の「源義経公東下
り行列」など様々な催しがあり
(岩手県/(一社)平泉観光協会)

きみまち阪つつじまつり

5月1日(水)～5月31日(金)
約2,500本のつつじが公園内の
あちらこちらに咲き誇る
(秋田県/二ツ井町観光協会)

不動の滝まつり

5月3日(金)
雪解け水をうけた滝の水量は迫力
満点(桜松神社の祭典中に実施)
(岩手県/八幡平市観光協会)

第50回江刺甚句まつり

5月3日(金)～5月4日(土)
岩谷堂の火防祭をルーツに旧江刺
市で市民総参加を目指してきた祭
(岩手県/地域支援グループ(江刺)商工観光担当)

第66回全日本こけしコンクール

5月3日(金)～5月5日(日)
全国各地からこけしが出品され、
工人が技を競う
(宮城県/全日本こけしコンクール事務局)

早池峰岳神楽公園 桜の舞

5月5日(日)
500年以上にわたり守り継がれ
てきた伝統の舞
(岩手県/花巻市教育委員会)

花山鉄砲まつり

5月5日(日)
古式技法乗っ取った火縄銃の発砲
演舞は迫力満点
(宮城県/栗原市)

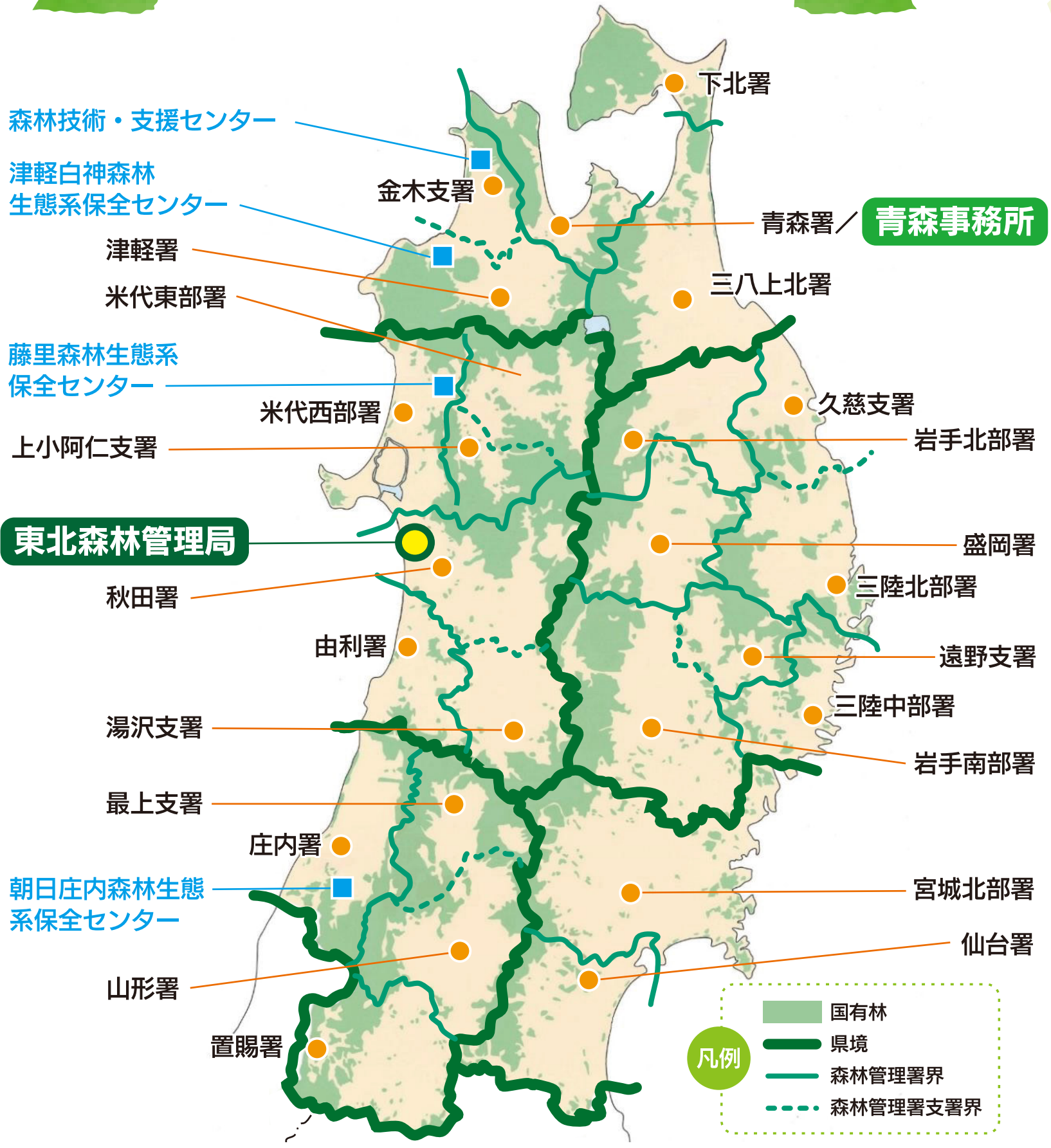
能代公園春まつり(つつじ)

5月6日(月)～5月31日(金)
14種類、約3,400株の色とりど
りのつつじを楽しめる
(秋田県/能代観光協会)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更
となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもあり
ますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター 森林技術・支援センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿陪野70-82 北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-72-2931 ☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
宮城県	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670
	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
秋田県	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.241

●発行日/令和6年4月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

